

令和2年度 岩美町社会教育委員会及び公民館運営審議会 議事概要

1. 日 時 令和3年3月25日(木) 午後3時00分～午後5時00分
2. 場 所 中央公民館 2階 第2研修室
3. 出席者 (委員) 横田光男委員、谷口 謙委員、岸本 彰委員、山本達雄委員
永美春美委員、平家陽子委員、城戸宏子委員

(事務局) 教育長 寺西健一、中央公民館長 坂口雅人
社会教育係 寺本謙吾

4. 議長選出 山本委員を議長に選出

5. 概 要

<議 題>

(1) 令和2年度社会教育・公民館事業の実施状況及び令和3年度事業計画(案)について

(事務局) 資料により説明

(委員) 文化サークル活動の支援の一環として、文化サークル団体との意見交換会を実施してはどうか。

(事務局) 調整し、実施することとする。

(委員) 令和3年度は新型コロナウイルスが終息し、全ての事業ができることを願っている。令和2年度はセンスアップ大学が開講できなかった。高齢者にも勇気や元気を与えるようにぜひ実施して欲しい。

(事務局) 令和3年度の実施方針を運営委員会でも確認した。5月14日に開講する予定としている。

(委員) 男女共同参画事業に計画されているDV相談は誰が受けてくれるのか。社会福祉協議会で実施しているものは防災無線でも案内されている。

(事務局) 相談は専門員が受けている。

(委員) 文化財の保存から活用という方向性だが、活用というのはどの程度を考えているか。岩美高のイワツツミッションでは文化財を地域の活性化に役立てようと学んでいる。地域に活かす活用方策を考えてみてはどうか。

(事務局) 今年度、数年ぶりに町内の遺跡から発掘された埋蔵文化財の展示を

行ったが好評であった。まずは、町の文化財を広く周知する取り組みを行っていかうと考えている。活用については文化財保存活用地域計画の策定も検討している。

(委員) 今年度のフレッシュフェスティバルは規模を縮小したが内容は変わっていない。出展者も代わり映えしない。実行委員会形式にして民間の方にもメンバーになっていただいて内容を検討してみてもどうか。こんなに良い公民館ができたのだからもっと活用できるのではないか。

(事務局) これまで、役場内の関係部署と産業祭の関係で商工会が中心となって実施してきた。実行委員会方式については検討してみたい。

(委員) 公民館のオンライン環境整備でどういったことができるか。

(事務局) いちばん簡単などころでは、一堂に会して実施している主事会をオンラインに切り替える。令和3年度中には中央公民館で行う講演会を地区公民館で聴講できるようにしたい。

(委員) この委員会も毎年同じようなレジュメ、同じような内容になっている。会のもち方をもっと考えて、真剣に社会教育を進めていかなければいけない。もっと真剣に話し合う場にしたい。改革しなければいけない。(意見として)

(委員) 15年前と様子を比較してみると子どもの数は少なくなっているが、公民館事業のなかで子どもと大人が交流する事業ができないだろうか。特に地区公民館で昔遊びなどの事業を企画してみてもどうか。公民館は大人のサークル活動が中心になっているように感じている。

(事務局) 主事会で事業の情報共有を図って取り組みたい。

(委員) 社会教育委員は具体的にこういった活動をしているよ、というのがない。米子市で社会教育の中四国大会があったときに、他団体の社会教育委員の話を聞いて社会に貢献しているなあと感じることがあった。我々も何か貢献できることがあったらいいな(意見として)

(2) その他

学校運営協議会制度について説明

(委員) この制度と社会教育委員との関わりはどうなるのか。

(事務局) 具体的な関わりがあるわけではないが、社会教育委員が学校運営協議会の委員になることはある。窓口は教育委員会となる。

その他

(委員) 令和2年度は自治会の事業もコロナウイルスの関係で様々中止となった。敬老会を行ったのは1地区のみ、運動会は全地区中止となった。何とか地域を元気にしたいという思いだ。 <<終了>>